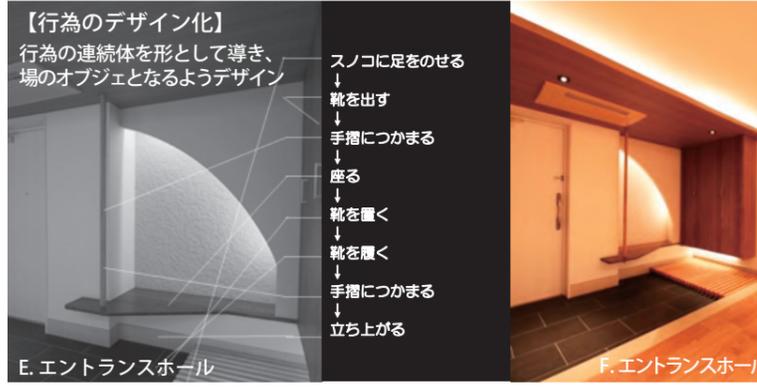


タイトル	地上80mの静寂 -Silence 80-
設計	パナソニックリフォーム (株)
施工	パナソニックリフォーム (株)

タイプ	持家共同建
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造

随所に設置された間接照明が様々なシーンを作り出し、壁天井の表情を豊かにすることで奥行き感のある空間を実現している。窓からの風景と広さ感のコントロールが効果的なのに加えて、丁寧な作り込みやエントランスホールの充実により、生活の質向上が伺える。

リフォーム前後の写真



リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想・満足度/住宅の価値を向上させた内容など

地上33階建、27階部分のフルリノベーション。クライアントからの条件は、家族2人で住むための部屋を軸に3点、「ゲストとファミリーのスペースを分ける」「不整形な部屋を作らない」「27階の高さを活かす」となった。まず、ニーズに合わせた諸室広さを算出・ゾーニングを行い、専有部分の設備計画・構造体ボリューム等の制約条件を整理後、各諸室のプロポーシヨンの検討を行った。EVホールから続く、暗く狭い共用廊下の雰囲気はエントランスホールの開放感をより強固な印象にし、設えた縦格子・照明の演出で来訪者の視覚に訴える計画とした。玄関扉側に手摺・ベンチを

設えているが、手摺を握る、座る、靴を脱ぐ……等の行為の連続体を行動分析し知覚されたアフォーダンスとなる形態を導き、「行為のデザイン化」を試みた。トイレ・洗面脱衣は機器の存在感を包括するような、上下左右立体的に折曲る動きのある意匠計画とした。LDKは外部との強い遮断と風景のコントロールを実現するため内障子を採用した。サッシュと障子の間に照明を設け、夕暮れには行灯の様を作り出し、都市夜景とは対なる性質を作り出している。眼前に広がるうつろう四季や都市風景の変容を新鮮に感じる為クライアントと共に、地上80mに静寂の一室を作り出した。

性能向上の特性	特に配慮した事項
耐久性能、バリアフリー性能	<ul style="list-style-type: none"> 傷んだ箇所や設備機器の交換 行動分析にともなう、手摺・ベンチの造作

所在地	広島県広島市	新築竣工年	2010年	築後年数	9年	施工期間	105日間
該当工事床面積	101㎡	総工事床面積	101㎡	該当部分工事費	2687万円	総工事費	2687万円
居住者構成	65歳以上：1人 / 15～64歳：1人 / 15歳未満：0人 /						

